

逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会

令和2年度事業に関する評価報告書

令和3年10月

目次	頁
1. 趣旨	1
2. 調査・評価の対象と方法	2
3. 総括	3
4. 基本計画と対象事業の関係	4
5. 評価シート	5
参考資料	22
1. 逗子文化プラザホール 令和2年度自主文化事業一覧	
2. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会規則	
3. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会 委員名簿	
4. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会 会議日程	

1. 趣旨

逗子市文化振興条例（平成 21 年 10 月）（以下、「条例」という。）では、「文化創造の主役は市民であり、市民は文化を創造し、享受する権利を持つことを市は認識しなければならない。そのために、市は市民の文化活動を広く支援し、必要な環境を整備する使命を負っている。」（前文より）と述べ、市の責務として「市は、文化活動を行う市民、団体及び事業者と協働し、地域における人材、資源、情報等を活かして、文化の振興を図るものとする。」（第 4 条第 3 項）と定めている。この条例は、制定の際に様々な検討が重ねられた結果、文化を独立した行政分野として位置付け、その振興に取り組むべきであることを指摘し、文化における市民の権利を明文化するとともに、市の文化振興施策の基本方針を定め、市の責務をより明確に示したものである。

これに基づき、「文化振興施策を総合的かつ計画的に推進するため」に『逗子市文化振興基本計画（平成 23 年 3 月策定、平成 27 年 3 月改訂）』（以下、「基本計画」という。）を策定した（条例第 5 条）。そこで「地域の文化を市民の手で拓く」を基本方針として、6 つの「施策の柱」のもと、18 の「基本施策」を体系化している。

また、「基本計画の推進に当たって、基本計画に基づく施策、事業等が的確に実施されているかどうか等について、調査、評価等を行う組織を設置するもの」（条例第 7 条）とされ、平成 24 年度に文化振興基本計画調査・評価委員会（以下、「委員会」という。）が発足した。この組織は、「基本計画の内容及び基本計画に基づく施策、事業等の評価、見直し等について調査、検討を行い、その結果に基づき市に提言するもの」（条例第 7 条第 2 項）とされている。

令和 2 年度の評価に当たっては、令和元年度の調査・評価の方法を基本的に継続することとした。基本計画の 6 つの「施策の柱」とそれぞれの施策の柱の下に位置付けられた「基本方針」が、令和元年度中に実施された事業によってどの程度実現できたか、という視点から評価するとともに、上記の事業のうち、基本計画の上位計画である逗子市総合計画実施計画及び基幹計画「共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン」の対象事業として位置付けられているものについては、計画上での目標を示し、達成状況について評価の中で考慮する、というものである。

今後、この評価報告書を踏まえ、基本計画に基づく施策や、事業がよりの確に実施され、市の文化振興施策が市民に資するものとなることを願っている。

2. 調査・評価の対象と方法

令和2年度は、令和元年度の調査・評価の方法（平成29年度に評価方法変更、平成30年度に評価事項追加）を、そのまま継続することとしたが、基本計画の6つの「施策の柱」と対象事業の関係を図式化した「4. 基本計画と対象事業との関係」については、記載方法を変更した。また、「5. 評価シート」の前半に記載していた「前年度事業に関する評価報告書 対象事業一覧」については、評価シート自体の内容と重複する箇所が多く見られたため、評価シートに内容を集約している。

評価に当たっては、6つの「施策の柱」毎の評価シートを設け、「基本施策」が掲げる目標に対し、対象事業の取組みの結果と、文化振興所管課（文化スポーツ課）の自己評価を求め、それに対する本委員会としての評価を行った。評価は、実現度合いを以下の3段階で評価した上で、意見を述べることとした。

- a. 順調である。
- b. 概ね順調である。
- c. 順調であるとみなせない。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ」という。）の影響により、事業の中止や変更を余儀なくされたため、評価にも大きく影響している。令和元年度までと同様、もしくは当初計画どおりの内容を実施できていない事業についても、実施可能な方法を検討したことについては一定の評価を示している。各事業のコロナの影響に関することは、該当する「施策の柱」毎の評価シートに記載している。

3. 総括

「1. 趣旨」に記したとおり、基本計画は、基本方針「地域の文化を市民の手で拓く」の下に6つの「施策の柱」を掲げ、本委員会ではこの6つの「施策の柱」に沿って毎年度の評価を行っている。また、基本計画の推進に当たって重点的に取り組むべき事業として4つの事業が挙げられており（6つの「施策の柱」との関係は次ページ参照）、平成27年度（2015年度）から令和4年度（2022年度）までの8年間の計画期間を3期（平成27年度～平成28年度、平成29年度～令和元年度、令和2年度～令和4年度）に分け、具体的な行動計画が策定されている。令和4年度には、次期の基本計画策定が行われる予定である。『令和元年度事業に関する評価報告書』では、4つの「重点事業」の平成29年度から令和元年度の期間における進捗状況についても取り上げたが、令和2年度では、次期計画策定（改訂）に向け、本委員会として提言したい。

令和2年度は、コロナの影響による様々な対応に終始した。特に、逗子文化プラザホールをはじめとする文化施設については、休館や事業の中止・変更を余儀なくされ、市民の文化活動についてもその在り方が問われた中で、逗子市文化祭や逗子アートフェスティバル等、適切な対応を講じて状況に合わせた活動ができた点は評価したい。今後については、特に次の三点についての検討が重要だと考える。

一点目は、逗子アートフェスティバルが、より市民主体で継続可能な形で発展し定着していくための支援のあり方の検討である。逗子アートネットワークが逗子アートフェスティバルの企画運営を行う市民主体の体制となって3年が経過した。その結果、地域文化の担い手の育成や市民の文化活動の活性化に貢献する事業に成長してきている。一方で、3年に一度規模を拡大して行う「トリエンナーレ」以外の開催に対し、市の財政支援がなく、継続が難しいという意見もある。コロナの影響がきっかけとなり、積極的にオンラインの手法を取り入れ、その都度、状況に応じた取組みを行っているが、市は予算措置も含め、開催方法等の検討を行う必要があると考える。

二点目は、地域の多様な文化資源、特に歴史的な文化資源の保存・継承・活用の仕組みづくりである。未だ取組みに至っていない逗子アーカイブスの見直し、デジタル化も踏まえた郷土資料の保存・公開について、再度、適切な方法を検討する必要がある。「逗子フォト事業」との関係性も含めたビジョンの策定と長期的な計画の設定、関係所管で連携・協力の上での推進体制づくり等を期待してきたが、現在に至るまで具体的な取組みに繋がっていない。今後は、市民や民間事業者との連携等も視野に入れ、市として実現可能な方法を検討してほしい。

三点目は、文化芸術基本法や障害者文化芸術推進法などの制定を踏まえた、関係部署との情報共有、連携・協力の仕組みづくりである。今後は、文化芸術振興に加え、観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等、文化芸術に関連する幅広い分野との連携や、関係部署・文化芸術団体・民間事業者・学校・地域等との連携による、さらなる文化事業の推進が期待される。逗子市においても、これらが実現できるような仕組みづくりが構築されていくことを期待する。

4. 基本計画と対象事業との関係

6つの施策の柱と基本施策	
(1) 地域文化の担い手育成	①子どもたちの文化創造体験の拡充 ②市民のアートリテラシーの向上 ③地域文化振興の担い手育成
(2) 市民文化活動の活性化	①市民文化活動への支援の拡充 ②市民による市民のための文化振興の仕組みづくり ③市民参画・協働型事業の充実
(3) 文化芸術に接する機会の拡充	①鑑賞機会の拡充 ②体験や参加、参画機会の充実 ③文化芸術に触れる機会の少ない人へのアプローチ
(4) 文化資源の活用による地域づくり	①逗子の歴史的資産、伝統文化の継承と発展 ②豊かな自然環境の活用 ③人的資源の発掘と連携
(5) 文化情報の収集と活用	①情報の収集・発信 ②情報のネットワークづくり ③(仮称)逗子アーカイブスの構築
(6) 文化振興のための環境づくり	①行政の文化振興体制の明確化と連携体制の整備 ②施設・整備の充実など ③近隣市町との交流・連携

対象事業等一覧	
文化スポーツ課の所管する事業等	各事業等に該当する 6つの施策の柱と基本施策
1 文化プラザホール維持管理事業	
文化プラザホール指定管理	
自主文化事業	(1) ①③ (2) ①③ (3) ①②③ (4) ③
ホールの運営(貸館等)	(5) ①
ホールの維持管理	(6) ②
2 文化プラザホール整備事業	
工事、修繕	(6) ②
3 文化活動振興事業	
文化振興基本計画策定・推進会議	(5) ③
文化振興基本計画調査・評価委員会	
逗子アートフェスティバル	(1) ②③ (2) ②③ (4) ③
逗子市文化祭	(1) ③ (4) ①
他部課の所管する事業等	各事業等に該当する 6つの施策の柱と基本施策
スマイル講座(子育て支援課)	(1) ①
生涯学習講座事業(市民協働課)	(1) ② (3) ②
社会教育講座(社会教育課)	(1) ② (3) ② (6) ③
旧郷土資料館の活用について(緑政課)	(4) ① (6) ①
自然の回廊プロジェクト推進事業(経済観光課)	(4) ②
逗子フィルムコミッション(経済観光課)	(4) ②
共育ポータルサイトの運用(市民協働課)	(5) ②
逗子フォト事業(企画課)	(5) ③

- 【基本計画重点事業1】
『逗子アートフェスティバル』の継続
<リーディング事業>
- 【基本計画重点事業2】
アウトリーチ活動の充実
- 【基本計画重点事業3】
文化振興のための環境づくり
- 【基本計画重点事業4】
『(仮称)逗子アーカイブス』の構築

5. 評価シート

施策の柱	(1) 地域文化の担い手の育成
地域の文化は市民が継承し、創造し、発展させるものと捉え、担い手を育成するために、文化への理解・関心の向上と活動への参画を促し、地域文化振興に必要な専門知識を持った市民を増やす。特に、吸収力旺盛な青少年期における文化との接触による次世代の担い手育成を図る。	

個別計画での基本施策と令和2年度の事業概要

① 子どもたちの文化創造体験の拡充	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育と連携しながら、子どもたちに対する芸術に触れる機会や文化・芸術教育を充実させます。 ○ 地域において多世代との交流を通じた、地域の文化体験など、地域生活における文化接触を豊かにしていきます。 ○ ホール自主文化事業において創造体験ができる機会を充実させます。
実施内容	<p>【ホール自主文化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アート便 2020 2メニュー（落語、和太鼓）提供。市立小中学校6校、授業数8件を実施。児童・生徒延べ659人参加。 ● 逗子こども落語教室 11月28日（土）。小・中学生20人参加。稽古全5回。アート便の波及効果で参加者増につながった。 ● 絵本作家山本省三さんと一緒に絵本をつくろう 2020 こどものための手作り絵本講座 1月30日（土）、31日（日）、2月7日（日）、3月21日（日）2クラスで開催。64人参加。 ● 和太鼓グループ彩-sai-逗子公演 Vol. 2 11月15日（日）なぎさホールで開催し、391人来場。逗子開成高等学校和太鼓部と共演した。共演に向けて和太鼓グループ彩-sai-による事前指導を7回実施し、プロの技術や演奏を直接学べる場を設けた。 ● 講座 コンサートの作り方 10月19日（月）、26日（月）に逗子高等学校1年生の総合的学習のワークショップの一つとして開催し、20人参加。ホール事業課担当と舞台技術担当者が講師を務めた。1日目はホールにおける公演制作や舞台についての講義を中心に行い、2日目は公演制作のワークショップを行った。
② 市民のアートリテラシーの向上	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 逗子の伝統文化、歴史的資産はもとより、様々な文化に関する教養講座などを実施し、市民の文化に対する興味や知識を向上させます。 ○ 学ぶことと創造すること、市民協働を進めながら、生涯学習と文化振興を連携させ、幅広い視野や包容力ある人材を育みます。 ○ 団塊の世代が地域に戻り、地域文化活動に参画していけるような機会を設定していきます。
実施内容	<p>【逗子アートフェスティバル（ZAF）2020の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 10月9日（金）～10月25日（日）で開催。全14企画（うち自由企画7企画）。来場者数12,121人。 ● 3年に一度規模を拡大して行うトリエンナーレ年に当たり、市から財政支援を行い開催した。 ● 総合プロデューサーを起用し、イベントに係る意思決定を行った。 ● 企画運営は「逗子アートネットワーク（ZAN）」のメンバーが中心となり行った。ZANは共同代表制とし、3人が代表を担った。 <p>【市民による文化事業への後援、協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 共催1件、協力6件、後援20件 合計27件。（うち、コロナ拡大防止のため13件中止、1件延期。） <p>【文化に関する講座の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生涯学習講座事業4講座実施（市民交流センター主催事業（市民協働課）。うち、ずし楽習塾講座は1講座4回。参加者延べ193人。 ● 社会教育講座5講座実施（文化芸術関連）、参加者延べ150人。（社会教育課） （1）徳富蘆花と関寛斎（2）鎌倉時代の貿易陶磁器と日本陶磁器について～鎌倉と周辺遺跡の出土品を中心に～（3）中世鎌倉地方の美術と中国文化（4）サードエイジ連続講座①逗子の歴史を学びま専科「末裔が語る逗子にとっての三浦一族」（5）サードエイジ連続講座④逗子ゆかりの画家を訪ねま専科「知られざる二大巨匠 小磯良平&吉野谷幸重」

③ 地域文化振興の担い手育成	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域において、文化事業の企画や制作、運営を担ったり、専門知識や技能を発揮したり、ボランティアやサポーターで参画したり、地域文化を推進していく人材の育成に取り組みます。 ○ 青少年や若年層の活力を積極的に取り入れます。 ○ 市民、来訪者に関わらず、市内で文化活動を行う人々の参画と参加により、交流のなかで、文化活動を活性化します。
実施内容	<p>【逗子アートフェスティバル2020 自由企画、ボランティア活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自由企画の公募を行い、7企画が参加。ボランティアは公募等せず、逗子アートネットワークの参加者と過去のボランティア参加者で行った。

※新型コロナウイルス感染症の影響	<p>【ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 臨時休館（令和2年3月4日（水）～6月30日（火）、令和3年1月12日（火）～3月21日（日））。開館中は、人数制限や利用制限を設けて運営している。 ● アート便のメニュー数（3メニュー→2メニュー）と、提供数（1校当たり2学年→1校当たり1学年の申込）の変更。市立小中学校8校中2校応募なし。 ● 「ブリッツ吹奏楽クリニック」の中止。 ● 「若手演奏家シリーズ#11、12」の中止。（当初7月18日（土）「若手演奏家シリーズ#11 パーカッションアンサンブル」、3月13日（土）「若手演奏家シリーズ#12 SHŪREI－秀麗なる木管五重奏の音色－」を予定。） ● イベント自体の中止に伴い、「ZUSHI COMMUNITY PARK GARDEN CAFÉ KAMEGAOKA 2020 SPRING/AUTUMN」への若手演奏家の出演中止。 ● 「ZUSHI パフォーマーズフェスタ vol. 6」の中止。（当初10月3日（土）を予定。） ● ボランティアライターに対する「情報発信協力ボランティアスキルアップ講座」の中止。 ● レセプション（Re-Ce）に対するフォローアップセミナーの中止。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逗子市文化協会によるスマイル講座の中止。（当初、和楽器6回、日本舞踊3回、いけばな4回、ダンス6回、囲碁4回、茶道6回、バレエ4回、アート4回を予定。） ● 逗子市文化協会は、第70回逗子市文化祭を次年度へ延期。 ● 生涯学習講座（市民協働課）や社会教育講座（社会教育課）の講座数の減 ● 神奈川県立近代美術館葉山との連携による美術講座（社会教育課）の中止。（当初全8回を予定。）
------------------	--

自己評価と見直すべき点	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>【自己評価】</p> <p>ホールの自主文化事業については、令和元年度に開催した「逗子こども落語教室」に定員以上の応募があり、アート便の波及効果で参加者増につながった。アート便は、「和太鼓」を新たなジャンルとして提供し、伝統文化に触れるきっかけとして好評を得た。その他アウトリーチ活動やワークショップについては、コロナの影響で中止したものもあったが、ホール公演と連携する形で実施できるよう、可能な方法を検討し、実施に近づけた。</p> <p>逗子アートフェスティバル2020は、トリエンナーレとして開催した。コロナ禍で例年どおりの参加や来場が見込めない中、オンラインの活用等により、イベントを知らない人や来場できない人に向けても広く参加を促すことができた。また、自由企画の公募も行い、新たな参加者も見られた。</p>
-------------	--

	<p>【見直すべき点】 逗子アートフェスティバル 2020 は、コロナの影響もあり、開催に当たって積極的にオンラインを活用したが、インターネットや SNS を利用しない人（特に高齢者）に向けた広報や企画が少なく、参加につなげることができなかった。</p>
--	---

<p>総合計画、基幹計画における位置づけと目標</p>	<p>【総合計画実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市として特に戦略的・重点的に取り組む「リーディング事業」に、逗子アートフェスティバルが位置付けられている。 ● 目標として「令和4年度までに、逗子アートフェスティバルの参加企画数が30企画になっており、質の向上が図られている。」としている。 <p>【基幹計画】共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン <文化振興事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和2年度における主な事業として「逗子アートフェスティバルを開催する（トリエンナーレ方式による開催）」としている。 ● 目標として「令和4年度までに、逗子アートフェスティバルの参加企画数が30企画になっており、質の向上が図られている。」としている。 <p><生涯学習講座事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和2年度における主な事業として「生涯学習の各種講座を開設する。ずし楽習塾を開設する」としている。 ● 目標として「令和4年度までに、生涯学習の各種講座が、130講座開設されている」としている。
-----------------------------	---

<p>委員会の評価</p>	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>ホールは、コロナ拡大の影響により、臨時休館や自主文化事業の中止・縮小を余儀なくされたが、様々な制限の中で実施可能な方法を検討し、対応したことは評価できる。逗子アートフェスティバルについても、ホールとの連携やオンラインの活用等、可能な方法を模索し、一定の成果を得ている点は評価したい。オンラインの活用は、これまで事業を知らなかった人や来場できなかった人にも参加を促すという効果が見られ、今後もその利点の活用は求められる。一方で、インターネットに不慣れな人に届きにくいという課題が残るため、今後も周知の方法については検討されたい。</p> <p>また、逗子アートフェスティバル 2020 への財政支援、市民による文化事業への後援や協力、また各種文化関連講座の実施は、当市の文化振興に対する意欲的な姿勢と同時に、市民の創作・鑑賞行動への欲求の高さを窺わせる。今後もコロナの影響は続くことが予想されるが、当市全体の文化度向上のため、事業の継続を可能にさせる方法を講じ、取り組まれない。</p>
---------------	---

施策の柱	(2) 市民文化活動の活性化
市民の文化活動は、心の豊かさや充足感を得るだけでなく、活力に満ちた社会や個性豊かな地域の形成など、様々な形で地域などにも還元されるものと捉え、市民個人や団体それぞれの活動を高め、広げるとともに、文化を通じた公益的な市民活動の支援を図る。	

個別計画での基本施策と令和2年度の事業概要	
① 市民文化活動への支援の拡充	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民に文化活動のための場と機会（時間）を提供し、市民と行政の役割を明確にした上で、市民文化活動の活性化のための協働を進めます。 ○ 文化活動をしていく上での相談や助言を行う仕組みや、支援や協働による活動の実現や拡大につながる仕組みを整えていきます。 ○ 文化事業の企画運営について、市民が専門的知識や技術の習得が可能となるよう支援します。 ○ 活動の目標や励みになる事業及び専門性をより高めていくための機会を設けるなど、支援を行います。
実施内容	<p>【ホール自主文化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ((1) ①再掲) 講座 コンサートの作り方 10月19日(月)、26日(月)に逗子高等学校1年生の総合的学習のワークショップの一つとして開催し、20人参加。ホール事業課担当と舞台技術担当者が講師を務めた。1日目はホールにおける公演制作や舞台についての講義を中心に行い、2日目は公演制作のワークショップを行った。 ● 絵本作家山本省三さんと一緒に絵本をつくろう2020 おとなのための手作り絵本講座 10月4日(日)、10月25日(日)、11月1日(日)3回開催。33人参加。 ストーリーや挿絵の制作から製本まで一貫して参加者の手により行われ、最終回は講座内でのミニ発表会を実施した。また、完成した作品を「図書館おはなし会((3) ①参照)」での読み聞かせに使用し、連携を図った。
② 市民による市民のための文化振興の仕組みづくり	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個人や既存の団体との連携を図りながら、プラットフォームとなる中間支援組織の育成や、文化NPOの支援などにも取り組みます。 ○ 市民自らが企画・参加し、地域文化を振興し、地域を活性化していく仕組みづくりを進めます。 ○ 世代間交流ができるような文化事業を実施します。
実施内容	<p>【逗子アートフェスティバル2020実施を目的とした、逗子アートネットワークの活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逗子アートフェスティバル2020の企画運営を行った逗子アートネットワークは、新たなメンバーを募集し、企画をサポートする等の形でメンバーが加わった。64人参加。 ● 逗子アートネットワーク全体でのミーティング8回、総合プロデューサーとZAN共同代表によるミーティングや、各企画者・広報担当者によるミーティング13回を行った。オンラインミーティングを活用することで、コロナ禍でも適宜情報共有を図ることができた。
③ 市民参画・協働型事業の充実	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の企画案、運営スタッフの市民公募などにより、市民参画・参加を促進します。 ○ 市民の企画力、運営力をより一層高めていく支援を行います。 ○ 市民主導型のホール自主文化事業を積極的に実施し、事業の充実を図ります。
実施内容	<p>【逗子アートフェスティバルの継続、逗子アートネットワークのメンバーの新規募集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逗子アートフェスティバル2020を開催((1) ②参照)。平成25年度(2013年)のプレアートフェスティバルから8回目の開催となった。 ● ((2) ②再掲) 逗子アートフェスティバル2020の企画運営を行った逗子アートネットワークは、新たなメンバーを募集し、企画をサポートする等の形でメンバーが加わった。64人参加。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民交流センター主催のトモイクフェスティバルは、コロナ拡大防止のため3月1日(月)～31日(水)でオンライン開催。

<p>※新型コロナウイルス感染症の影響</p>	<p>【ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「絵本作家山本省三さんと一緒に絵本をつくろう 2020 おとなのための手作り絵本講座」の定員変更。 ● 市民企画事業の中止。(当初10月16日(金)「第3回敬老寄席駅前寄席 in 逗子文化プラザホール」を予定。) ● レセプションニスト (Re-Ce) 活動の中止。 ● トモイクフェスティバルのオンライン開催に伴う連携中止。
-------------------------	--

<p>自己評価と見直すべき点</p>	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>【自己評価】</p> <p>ホール自主文化事業「講座 コンサートの作り方」は、逗子高等学校で総合学習的プログラムの一環として行った。令和元年度の講座から内容を一新し、よりホールや公演について関心を得やすい内容とすることで、将来的な市民文化活動の活性化につながる取組みとなった。</p> <p>逗子アートネットワークは、主に逗子アートフェスティバルの企画運営を行っているが、逗子アートフェスティバル終了後にこれまでの取組みを題材とした「持続可能なアートと未来のまちづくり会議」をオンライン開催する等、通年的な文化活動を視野に入れて活動している。</p> <p>【見直すべき点】</p> <p>コロナの影響で中止となったホールの市民企画やボランティア活動について、コロナ禍での新しい生活様式でも市民が安心して参加できるような活動の場を検討し、提供していく。</p>
--------------------	---

<p>委員会の評価</p>	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>コロナの影響で、ホールでの開催が予定されていた市民企画等が中止となったことは残念であった。一方で、逗子アートフェスティバルの企画運営を担当する逗子アートネットワークには新規メンバーが加わり、オンラインを活用した取組みが行われる等、より積極的な文化活動を推進したことは評価したい。逗子高等学校での「講座 コンサートの作り方」も2年目となり、成果も広がりつつある。今後は、市民向けの講座等に発展させ、市民の文化事業の企画力アップにつながることを期待したい。また、手作り絵本講座で完成した作品を「図書館おはなし会」で読み聞かせをするといった、将来的に市民文化活動を担う若い世代への働きかけは、今後も重要な役割を果たすと考えられる。</p> <p>他にも市民が文化活動に対し、理解を深めるための講座やワークショップ、市民参画・協働のための仕組みづくりが行われたことが認められる。また、コロナ禍においても開催可能な手法(オンライン等)を用いて事業が継続されたことは評価できるが、その活動が市民に十分に伝わっていない部分もあり、今後の課題と言える。</p>
---------------	---

施策の柱	(3) 文化芸術に接する機会の拡充
<p>条例で定める、文化芸術を創造し、享受することは市民の権利であることを実現するため、すべての市民が文化芸術に触れることのできる機会を提供するように努める。特に、文化事業を企画したり、運営に参画したり、支援する機会や、文化芸術に触れることが困難な市民が気軽に接する機会の拡充を図る。</p>	

個別計画での基本施策と令和2年度の事業概要	
① 鑑賞機会の拡充	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民ニーズにあった多彩な鑑賞型事業を実施します。 ○ 市民の企画による事業を募集、協働にて実施します。
実施内容	<p>【ホールによる鑑賞機会の拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鑑賞型事業を6件実施。ジャンル別内訳は、音楽関係4件、伝統文化・古典芸能2件。平均満足度は83.7%。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月5日(土)「H ZETT M ピアノ独演会 2020 九月 - 逗子の陣 -」 ・ 11月28日(土)「さざなみ亭落語会 三遊亭わん丈&みんなで創る落語会其の四」 ・ 12月25日(金)「山田姉妹のクリスマスコンサート ～"歌声"で逗子にエールを～」 ・ 1月9日(土)「NAOTO アコースティックコンサート with 榊原大 スペシャルゲスト新倉瞳」 ・ 1月23日(土)「中井智弥&堀米綾 ～和と洋が織りなす絃の調べ～」 ・ 3月7日(日)「逗子落語会 三遊亭好楽・桂文珍 東西会」 ● 図書館連携事業「おはなし会」 <ul style="list-style-type: none"> 12月17日(木)開催。2～3歳の子どもと保護者対象の「おひざにだっこのおはなし会」(10人参加)と、4～6歳の子ども対象の「わんぱくおはなし会」(16人参加)の中で、手作り絵本講座の完成品をそれぞれ1冊ずつ読み聞かせした。
② 体験や参加、参画機会の充実	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホールにおいて、鑑賞型事業の実施に合わせ、そのテーマに沿った各種講座やワークショップを実施します。 ○ 市内公共施設などにおいて、各種講座事業を実施します。
実施内容	<p>【ホール自主文化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ((1) ①再掲) 逗子こども落語教室 <ul style="list-style-type: none"> 11月28日(土)。小・中学生20人参加。稽古全5回。アート便の波及効果で参加者増につながった。 ● 逗子文化プラザホール開館15周年 東京交響楽団 演奏会 <ul style="list-style-type: none"> 本公演の指揮者齋藤友香理氏と、同楽団員である逗子出身のバイオリニスト土屋杏子氏が、本公演の演奏内容や逗子文化プラザホールについてのアフタートークを行った。指揮体験ワークショップでは、齋藤氏の指導の下、公演で演奏された曲を参加者自ら指揮した。公開ワークショップだったため、参加者だけでなく、会場に残った来場者も楽曲への理解を深め、公演への満足度(91.4% ※無回答除く)につながった。 <p>【逗子アートフェスティバル2020】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ((1) ③再掲) 自由企画の公募を行い、7企画が参加。 ● 文化プラザホールや市立体育館等で、作品の一部を制作する参加型ワークショップを開催。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各種講座の実施((1) ②参照)。
③ 文化芸術に触れる機会の少ない人へのアプローチ	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主文化事業の内容に合わせて対象や方法を工夫しながら、PR活動を行います。 ○ 自主文化事業の実施場所をホールに限定せず、積極的にアウトリーチ事業として実施することにより、ホールに来館できない方へも文化・芸術を広めていきます。
実施内容	<p>【ホール自主文化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (一部(1) ①再掲) アート便2020 <ul style="list-style-type: none"> 2メニュー(落語、和太鼓)提供。市立小中学校6校、授業数8件を実施。児童・生徒延べ659人参加。新規メニューの和太鼓は、令和元年度にホール公演を行った「和太鼓グループ彩-sai-」のメンバーを講師に起用した。落語の講師である三遊亭わん丈氏は、令和元年度からこども落語教室の講師を務めて

	<p>いる。ともに、令和元年度に引き続き令和2年度もホール公演を行っており、同じアーティストによる継続した取組みにより、アート便の参加者に講師や演目に親しみやすさを感じてもらうことで、ホールやホール公演への関心を高めることにつなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人形劇「岸辺のヤービ」 12月19日（土）なぎさホール初の人形劇を開催し、304人来場。 0歳から入場可能なファミリー公演として、なぎさホール初の人形劇を開催。話の内容や、ホールの大きさによる鑑賞の難しさ等の課題はあったが、親子でホールに来場するきっかけとなる公演となった。
--	---

<p>※新型コロナウイルス感染症の影響</p>	<p>【ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逗子出身のアーティスト SHANTI による「SHANTI's New Standards with MARC VAN ROON Japan 2020」Tour Final in ZUSHI の中止。（当初6月20日（土）を予定。） ● 「ウィークデーマチネ#2 坂巻貴彦ピアノコンサート」の中止。（当初2月17日（水）を予定。） ● ホールオープンデーの中止。（当初8月1日（土）に公演やワークショップ等7企画を予定。うちワークショップ1件は延期。） ● アート便のメニュー数（3メニュー→2メニュー）と、提供数（1校当たり2学年→1校当たり1学年の申込）の変更。市立小中学校8校中2校応募なし。
-------------------------	--

<p>自己評価と見直すべき点</p>	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>【自己評価】 ホールでは、検温や消毒・換気の他にも、座席制限や館内での人と人の距離の確保等、感染症対策を十分行い、来場者にも周知した上で鑑賞機会を設けた。特に「H ZETT M ピアノ独演会 2020 九月 一逗子の陣ー」は、臨時休館明け初めての公演ということもあり、発売初日に完売した。体験や参加、参画機会の拡充では、「東京交響楽団 演奏会」の中で、本公演の指揮者と市内出身の同楽団員によるアフタートークを開催したほか、指揮者体験ワークショップを開催した。コロナ禍で様々なイベントが中止や変更となる中、プロから直接指導を受ける貴重な機会を提供することができた。</p> <p>【見直すべき点】 コロナ禍でのアート便の実施方法の見直しにより、提供ジャンル数が限られた。今後も、各学校や施設のニーズを確認しながらジャンルを検討し、実施可能な方法を提案していく。入場率が低かった公演については、コロナの影響だけではなく、内容や広報面での課題も踏まえ、入場者数の向上について検討していく。</p>
--------------------	--

<p>総合計画、基幹計画における位置づけと目標</p>	<p>【総合計画実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「令和4年度までに、文化プラザホールにおいて、質の高い自主文化事業が実施され、ホール自主事業の入場者アンケートの満足度が90パーセントを超えている。」 「文化プラザホールの入場者（観客）が年10万人以上になっている。」を目標としている。 <p>【基幹計画】共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン ＜アウトリーチ活動推進事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「令和4年度までにアウトリーチ事業の訪問施設が、学校施設だけでなく高齢者福祉施設などでも実施している。」を目標としている。
-----------------------------	--

<p>委員会の評価</p>	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>コロナの影響で、事業期間が短縮されたこともあり、評価は「順調である」とはしなかったが、9月の「H ZETT M ピアノ独奏会」から3月の「逗子落語会」まで、感染症対策を講じ、鑑賞機会の拡充や体験型プログラムが実施されたことの意義は大きい。また、開館15周年事業である「東京交響楽団演奏会」では、本公演の指揮者と市内出身の同楽団員によるアフタートークを開催したほか、指揮者体験ワークショップを開催する等、鑑賞だけにとどまらない事業であったことも高く評価できる。いずれも、コロナによって社会全体が閉塞感に包まれる中で、文化芸術に触れる喜びが実感されたことが高い満足度の理由の一つと考えられる。コロナの影響は続くことが予想されるが、今後も市民の関心を高めるような文化芸術事業の展開を期待したい。また、基幹計画に掲げるアウトリーチ活動の推進方法についても検討されたい。</p>
---------------	---

施策の柱	(4) 文化資源の活用による地域づくり
市内に存在する様々な歴史的資産や伝統文化、青い海や緑豊かな自然環境といった環境、逗子ゆかりの作家や芸術家、各分野の専門性や学識経験を持った市民をはじめとする全ての市民を逗子の文化資源と捉え、逗子の持つ文化の力を発揮して、個性と活力ある地域づくりを進めていく。	

個別計画での基本施策と令和2年度の事業概要	
① 逗子の歴史的資産、伝統文化の継承と発展	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内に残る伝統文化などの継承を支援します。 ○ 継承すべき文化の中から、どのように継承するかなど、協働により検証していきます。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 現状の旧郷土資料館の活用について、社会教育課と緑政課で情報共有を図った。(旧郷土資料館内の資料約4,500点中4,000点を、旧野外活動センターに移動した。) ● 旧郷土資料館の今後の活用について、市民からの意見等を参考に、緑政課で検討している。 ● 地域の文化財の一つについて、市の重要文化財指定に向けた有識者による調査を実施した。(社会教育課)
② 豊かな自然環境の活用	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 逗子の自然環境についての学習・保全・啓発につながる文化活動を推進します。 ○ 様々な映像作品のロケ地として利用される逗子を、より一層発信していくため、フィルムコミッション事業やロケ地観光などを促進していきます。 ○ 自然環境を活かした文化活動を推進します。
実施内容	<p>【自然の回廊プロジェクト推進事業（経済観光課）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和元年度に引き続き、個別の回廊ごとのマップをホームページに掲載。 ● 新規で、自然の回廊も紹介する逗子の観光総合マップ「逗子旅」を7,000部発行。 <p>【逗子フィルムコミッション（経済観光課）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 撮影問合せ件数97件、市内での撮影件数65件、市民エキストラ登録人数154人。 <p>【社会教育講座（社会教育課）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ((1) ①再掲) 各種講座事業5講座。参加者延べ150人。うち文化財関係は3講座。
③ 人的資源の発掘と連携	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域に根ざした様々な分野のアーティストや専門家を発掘します。 ○ 様々な人的資源をつなぐネットワークづくりを進めます。
実施内容	<p>【((2) ②再掲) 逗子アートフェスティバル2020実施を目的とした、逗子アートネットワークの活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逗子アートフェスティバル2020の企画運営を行った逗子アートネットワークは、新たなメンバーを募集し、企画をサポートする等の形でメンバーが加わった。64人参加。 ● 逗子アートネットワーク全体でのミーティング8回、総合プロデューサーとZAN共同代表によるミーティングや、各企画者・広報担当者によるミーティング13回を行った。オンラインミーティングを活用することで、コロナ禍でも適宜情報共有を図ることができた。 <p>【ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逗子アートフェスティバル2020 ホール主催・共催事業を全5企画開催した。 ● ホールキャンバス2020、ホールゲート 地元アーティストTAMA氏を起用し、ホールエントランスのガラス面に瓦版を描く広報活動「ホールキャンバス2020」と、検温器にアートデコレーションを施す「ホールゲート」の制作を実施した。 ● 平田耕治 TANGO CONCERT 2020 逗子開成高等学校出身で、世界で活躍するバンドネオン奏者平田耕治氏によるタンゴコンサートを開催。 ● 絵本作家山本省三さんと一緒に絵本をつくらう2020 こども・おとなのための手作り絵本講座 逗子在住の絵本作家山本省三氏が講師を務めた。山本氏は、手づくり絵本講座の前身である手づくり絵本コンクールの初回(平成28年度)から講師を務めている。 ● 山田姉妹のクリスマスコンサート～“歌声”で逗子にエールを～ 平成30年度から逗子市広報大使を務める、双子ソプラノデュオ山田姉妹による公演を開催。

<p>※新型コロナウイルス感染症の影響</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 逗子市文化協会による伝統文化教室の中止。(当初スマイル講座として、和楽器6回、日本舞踊3回、いけばな4回、ダンス6回、囲碁4回、茶道6回、バレエ4回、アート4回を予定。) ● 「未病×自然の回廊ウォーキング～田越川・逗子海岸回廊」(経済観光課と国保健康課の連携)の中止。 ● 回廊コース等を紹介する「逗子自然の回廊展」の中止。
<p>自己評価と見直すべき点</p>	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>【自己評価】 ホールの自主文化事業として開催した逗子市広報大使「山田姉妹のクリスマスコンサート」は、コロナ禍に市民に歌声でエールを贈るコンサートとして、急遽開催を決定した。そのため、券売期間が短く、平日の昼公演のみとなったが、チケットを低価格で提供したり、市民への先行販売期間を設ける等の新たな取組みにより、約8割を券売し、広く市民が来場できる公演として開催した。その他にも、逗子に縁のあるアーティストによる公演等を行い、逗子の文化資源の活用につなげることができた。 逗子アートネットワークには、市内外から新たな参加者があり、様々な人のつながりを生んだ。</p> <hr/> <p>【見直すべき点】 旧郷土資料館については、公園内の施設であることから、利活用を図るに当たり、資料の移動等を行った。今後は、景観を生かし、公園利用者の利便性の向上に資する魅力ある公園施設となるよう、Park-PFI制度の活用等を検討する。その他の文化資産の活用等については、関係課での情報共有は行っているが、具体的な取組みには至っていない。</p>
<p>総合計画、基幹計画における位置づけと目標</p>	<p>【総合計画実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市として特に戦略的・重点的に取り組む「リーディング事業」に、自然の回廊プロジェクトが位置付けられており、「令和4年度までに、道標や説明板の設置済みコースが100%となっている」ことを目標としている。
<p>委員会の評価</p>	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>「人的資源の発掘と連携」に関しては、ホール事業や逗子アートネットワークの活動の活発化や逗子市出身の音楽家によるコンサート等、一定の進展を得た点は評価できる。 「歴史的資産、伝統文化の継承と発展」については、旧郷土資料館の建物及び郷土資料の保存・活用は、関係課や市内の文化団体・NPO等との協働・連携が図られているが、今後さらに具体的な取組みに期待したい。</p>

施策の柱	(5) 文化情報の収集と活用
<p>情報による文化の活性化を目指し、市民だれでもが容易に市内・市外の文化情報を手に入れることができるような情報流通の仕組みを構築し、新しい情報メディアへの対応を図る。また、逗子の文化資源に関する情報として、文字情報だけでなく映像や音源などを集積して、活用できる仕組みを検討する。</p>	

個別計画での基本施策と令和2年度の事業概要	
① 情報の収集・発信	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他市の文化施設での催しなどの情報をホール及び市民交流センターでも手軽に取得できるよう情報の収集に努めます。 ○ 各メディアに積極的に情報発信を行います。 ○ 新しいメディアを活用した情報提供の検討を行います。
実施内容	<p>【ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オンラインやSNS (Facebook、Twitter、Instagram) での情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・情報掲載用アプリ (チラシクラシック、チラシステージ) や、情報サイト (ぶらあぼ、和楽器イベント.com) に公演情報やチラシを掲載する等し、オンラインでの情報発信を強化した。 ・新たに公式YouTubeチャンネルを開設した。ホール公演に向けた出演者からのコメントや、公演のダイジェスト映像を配信し、公演の来場者だけでなくホールに来場できない人に向けても、出演者やホールの情報を発信した。 ・公式ウェブサイトを更新し、スマートフォン等のモバイル端末対応の仕様とした。 ● ホール&ギャラリーニュース <ul style="list-style-type: none"> 年間4回、各11万部発行。広報ずしと併せて市内全戸配布。近隣市町 (横浜市、横須賀市、鎌倉市、葉山町の一部) へは、新聞折込により配布。また、サポート会34ヶ所、他館112館等に持参や郵送で配架を依頼。 ● その他の媒体での情報発信 <ul style="list-style-type: none"> 広報ずし・子育てわくわくメールマガジン・ポータルサイト「えがお」(市)、マグカルカレンダー (県情報誌)、イベントバンク (情報配信サイト)、「逗子・葉山に暮らす子育て世代のサイト『海山時間』〜」(新規)、ラジオ等で自主文化事業について情報発信を行った。 また、市役所のホール用ラック、市内掲示板、PR-BOX、交流センターラックを活用して情報発信した。 ● 近隣他館との連携 <ul style="list-style-type: none"> 近隣他館の催し物や情報誌を配架した。 ● 貸館利用の周知 <ul style="list-style-type: none"> 貸館販促用のパンフレットとチラシを作成した。 ● ホールキャンパス2020 <ul style="list-style-type: none"> ホールエントランスのガラス面を使った瓦版として展開し、ホールに関する情報発信を行った。
② 情報のネットワークづくり	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際的な文化交流なども視野に入れ、近隣市町などの公共ホール、劇場、美術館、アートイベントなどとの連携を模索します。 ○ 市内の文化活動団体の交流支援をしていきます。
実施内容	<p>【情報のネットワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 共育ポータルサイト「ナニスル」を引き続き運用。令和2年度末現在参加団体数682件。(市民協働課) <p>【(一部(1)②再掲) 市民による文化事業への後援、協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 共催1件、協力6件、後援20件 合計27件。(コロナ拡大防止のため13件中止、1件延期。) <ul style="list-style-type: none"> 共催・協力・後援に伴い、市内広報板へのチラシ掲出を行い、事業の周知を図った。
③ (仮称) 逗子アーカイブスの構築	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 点在する文化資源情報の収集・整理を進めるための基盤づくり (収集・整理に必要な知識や情報の蓄積など) を、市民と協働で行います。 ○ 文化資源情報の収集・整理の方法について検討します。 ○ 文化資源情報を整理し、将来的にはデジタル化、アーカイブ化により、市民が活用しやすい環境づくり

	につなげます。
実施内容	【逗子フォト事業（企画課）】 <ul style="list-style-type: none"> ● 市ホームページでの写真公開枚数は、令和3年6月15日現在2,413枚。 ● 令和元年7月から、逗子フォトの利用を拡大するため、運用ポリシーを変更。営利目的利用に係る事前の申請を不要としている。

※新型コロナウイルス感染症の影響	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報発信におけるオンライン（SNS等）の活用。 ● ホール&ギャラリーニュースの紙面見直し。 ● 逗子フォト展の中止。
------------------	---

自己評価と見直すべき点	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。 【自己評価】 ホールは、新たにチラシ掲載情報アプリ「チラシクラシック」と「チラシステージ」を活用して公演の周知を行ったほか、公式 YouTube チャンネルを開設し、コロナの影響で来場が難しい方や遠方の方へ向け、期間限定で「和太鼓グループ彩-sai-逗子公演 Vol. 2」の公演の様子を公開した。また、コロナによる臨時休館や開館スケジュールの変更、利用方法等をホームページや SNS に掲載し、運営に伴う最新情報の発信に努めた。 【見直すべき点】 「（仮称）逗子アーカイブス」について、逗子フォト事業との将来的な連動という形で検討することとなっているが、具体的な動きには至っていない。逗子フォト事業についても、市ホームページでの写真の公開に留まっている。
-------------	---

総合計画、基幹計画における位置づけと目標	【総合計画実施計画】 <ul style="list-style-type: none"> ● 市として特に戦略的・重点的に取り組む「リーディング事業」に、共有ネットワーク構築事業が位置付けられている。 ● 「令和4年度までに、子どもを対象にした『共育』の講座に参加する子どもが年間延べ2,000人になっている」「『共育』に関するポータルサイトに参加している団体が200団体になっている」「生涯学習グループ・サークルの届出(登録)が250件になっている」「生涯学習関連情報の窓口が一本化されている」を目標としている。 【基幹計画】 共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン <共有ネットワーク構築事業> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和元年度における主な事業として「共有ネットワークシステムを運営する」「子ども対象講座事業を実施する。（立ち上げ、運営）」としている。 ● 「令和4年度までに、子どもを対象にした『共育』の講座に参加する子どもが年間延べ2,000人になっている。」を目標としている。
----------------------	---

委員会の評価	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。 文化情報の収集と活用は、市民へのサービスとして重要であり、ポータルサイトを運用した情報ネットワークの構築等により、情報の発信に注力されていることは評価できる。特に、コロナの影響により、各種 SNS を用いたオンラインによる情報発信が進んだこと（情報掲載用アプリの活用、ウェブサイトのリニューアル等）については、今後に向けた情報発信の方法として評価できる。これを機に、国際的な文化交流等も視野に入れ、具体的な計画に期待したい。 「（仮称）逗子アーカイブス」については、逗子フォト事業の展開も含めてほとんど進展が見られず、文化資源の情報収集や整理、保管等について、早急に関係機関等との協議・調整が望まれる。
--------	--

施策の柱	(6) 文化振興のための環境づくり
近隣市町などとの連携を視野に入れ、行政における推進体制の整備を行うとともに、ホールをはじめとする既存の施設の維持管理に努め、市民による自主的かつ主体的な文化活動が行える環境づくりを目指す。	
個別計画での基本施策と令和2年度の事業概要	
① 行政の文化振興体制の明確化と連携体制の整備	
目標	○ 文化振興所管課を中心として、関係部署との協力・連携を強化します。 ○ 文化を軸とした、行政の一体的、組織横断的な推進体制の確立を目指します。
実施内容	【ホール】 ● 指定管理者に対するモニタリングを毎月実施。(文化スポーツ課) 【((4) ①再掲) その他】 ● 現状の旧郷土資料館の活用について、社会教育課と緑政課で情報共有を図った。(旧郷土資料館内の資料約4,500点中4,000点を、旧野外活動センターに移動した。) ● 旧郷土資料館の今後の活用について、市民からの意見等を参考に、緑政課で検討している。 ● 地域の文化財の一つについて、市の重要文化財指定に向けた有識者による調査を実施した。(社会教育課)
② 施設・設備の充実など	
目標	○ ホールの管理運営について、多くの市民の意見を取り入れながら、改善を図ります。 ○ バリアフリーやユニバーサルデザインなど、誰もが利用しやすい環境づくりのため、施設や設備の計画的な修繕・改修に努めます。 ○ まちなかに点在する空きスペースや休眠中の市の施設などの情報収集・発信に努めます。
実施内容	【ホール】 ● 文化プラザ駐車場管制機器更新工事実施。(文化スポーツ課) ● 令和2年度の貸館利用者満足度は「とても満足」「満足」を合わせて83.3%。 ● コロナによる臨時休館中は、利用料金の振込や支払時期の猶予、電話での打合せ等、柔軟に対応した。 ● コロナ禍で公演を開催するための試みとして、事業課・サービス課各1人が「キープディスタンス」コンサート試演会(ミューザ川崎シンフォニーホール主催)に参加し、感染症対策の取組みの参考とした。 ● 他館の取組みについて、セミナーの参加やヒアリングで情報収集し、安心して利用できる施設となるよう取組みを行った。入館者の検温実施や、ホール独自のガイドライン策定と運用や名簿の取得等について、利用者への周知に努めた。
③ 近隣市町との交流・連携	
目標	○ 文化プラザが地域の文化活動、創造的活動の拠点となり、他の近隣市町との交流・連携を進めます。
実施内容	【((4) ②再掲) ホール】 ● 逗子アートフェスティバル2020 ホール主催・共催事業を全5企画開催した。 ● ホールキャンパス2020、ホールゲート 地元アーティストTAMA氏を起用し、ホールエントランスのガラス面に瓦版を描く広報活動「ホールキャンパス2020」と、検温器にアートデコレーションを施す「ホールゲート」の制作を実施した。

※新型コロナウイルス感染症の影響	【ホール】 ● 臨時休館(令和2年3月4日(水)～6月30日(火)、令和3年1月12日(火)～3月21日(日))。開館中は、人数制限や利用制限を設けて運営している。 ● 令和2年度中の貸館キャンセル数302件、うち利用料金還付件数173件。 ● 避難訓練コンサートの中止。(当初9月を予定。) 【その他】 ● 神奈川県立近代美術館葉山との連携による美術講座(社会教育課)の中止。(当初全8回を予定。)
------------------	---

<p>自己評価と見直すべき点</p>	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>【自己評価】 ホールは、市内在住のアーティストと連携した広報手段により、スペースを効率的に活用して公演情報を発信した。また、コロナ対策として、館内での検温・消毒・換気の実施や、利用者への消毒セットの貸出等、施設を安心して利用できるように適切に対応した。維持管理については、図書館の窓ガラス破損への対応、雨漏りの修繕、駐車場入口の木の伐採等、緊急事態に迅速に対応した。コロナの影響により、利用者にとっては様々な制限下での利用となったが、上述の取組みもあり、ホール貸館利用者アンケートによる満足度は引き続き高水準を維持した。</p> <hr/> <p>【見直すべき点】 文化振興所管課を中心とした関係部署との協力・連携については、各部署の事業の情報共有に留まっている。近隣市町との連携については、既に連携している施設以外との連携に向けた具体的な取組みを検討する必要がある。</p>
--------------------	---

<p>総合計画、基幹計画における位置づけと目標</p>	<p>【総合計画実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「2022年度（平成34年度）までに、ホール貸館利用者アンケートによる満足度で「良い」が75パーセントになっている。」を目標としている。 <p>【基幹計画】 共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン <文化プラザホールの維持管理事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「令和4年度までに、中長期的改修計画に基づいた施設の改修工事を実施する。」を目標としている。
-----------------------------	--

<p>委員会の評価</p>	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>コロナ感染拡大に伴う緊急事態宣言により、ホールは約半年に渡り休館となり、開館中も様々な利用制限をせざるを得なかったが、利用料金の還付や振込猶予等の柔軟な取組み、きめ細かな検温・消毒・換気の実施等により、貸館利用者の高い満足度を維持したことは評価したい。また、指定管理業務に対するモニタリングを毎月実施し、ホールの運営状況や課題を指定管理者と共有し、解決に向けて協議したことも評価できる。今後も施設の利用制限等が続くことが予想されるが、利用者の安全を第一に考慮した上で、施設の改修や拡充においても、バリアフリー化やユニバーサルデザインの導入等の環境づくりについて適切に対処してほしい。また、市民が主体的に文化活動を行えるよう、近隣市町との連携も視野に入れ、文化プラザを拠点とした文化振興のための環境づくりを検討されたい。</p> <p>施策の柱（4）でも触れた旧郷土資料館の活用等、庁内の関係部署との連携については十分進んでいるとは言えず、今後の課題である。</p>
---------------	---

参考資料

1. 逗子文化プラザホール 令和2年度自主文化事業（実施分）

分類	事業名	実施日時	会場	対象 /定員	チケット料金	入場者数 (入場率)	備考 (チケット販売枚数または申し込み人数)
1	まちづくり 逗子子ども落語教室2020	教室： 7月16日(木) 8月5日(水) 9月9日(水) 10月12日(月) 11月11日(水) 発表会： 11月28日(土)	さざなみホール なぎさホール	市内 小中学生 /20名	参加費 7,000円	20名 (100%)	最終申込み数：24名 *新型コロナウイルスの影響により、6月25日(木) 実施予定を8月5日(水)に変更
2	まちづくり アウトリーチ アート便2020	9~3月開催	市内小中学校	—	—	①85名 ②134名 ③144名 ④84名 ⑤94名 ⑥118名	落語（三遊亭わん丈、春風亭一花） ①【済】1月29日(金)久木小学校6年生(1) ②【済】2月5日(金)逗子小学校5年生(2) ③【済】3月3日久木中学校3年生(2) 和太鼓（和太鼓グループ彩-sai-） ④【済】10月29日(木)沼間中学校2年生(1) ⑤【済】12月3日(木)池子小学校5・6年生(1) ⑥【済】2月18日(木)逗子中学校3年生(1) 【応募なし】 沼間小学校 小坪小学校
3	鑑賞 H ZETT M ピアノ独演会2020 九月 —逗子の陣—	9月5日(土) 16:00開演	なぎさホール	*419名 ※PA26席を 除く	全席指定 一般4,000円 高校生以下2,000円	371名 (88.5%)	最終券売数：415枚 *3才以下入場不可、4才からチケット必要 *チケット発売日を7月4日(土)に変更
4	地域資源 共催 ZAF2020 みんなでアート	10月9日(金)	さざなみホール	—	無料	625view	10月12日(月)~YouTubeにて公開 *10/31現在の3動画合計視聴数 *ワークショップ ①6月20日(日)池子の森自然公園、②7月18日(土)逗子アリーナ、③9月26日(土)逗子アリーナで開催 *協力：すこやかいきいき協議会
5	地域資源 共催 ZAF2020 まぜこぜおばけ ぼくたちのうたがきこえますか2020	①10月9日(金) 11:00~21:00 ②10月10日(土) 9:30~15:00 ③10月11日(日) 9:30~15:00	なぎさホール ホワイエ	—	無料	①126名 ②351名 ③190名	*ワークショップ ①8月31日(月) ②9月8日(火) ③9月9日(水) ④10月3日(土) ホールギャラリー前にて開催
6	地域資源 共催 ZAF2020 &ZAF	—	—	—	—	—	企画者やアーティスト等へのインタビューをホーム ページ上で公開 (noteへの掲載、YouTubeでの動画配信)
7	地域資源 ZAF2020 「Play with the Earth」逗子公演2020	10月10日(土) 19:00開演	なぎさホール	*316名	全席自由 前売2,000円 (当日2,500円)	292名 (92.4%)	[招待60名含む] 最終券売数：256枚
8	地域資源 共催 ZAF2020 螺旋の映像祭	10月10日(土) 11:00~21:00	さざなみホール	各回最大 *70名	全席自由 1,200円	①62名(88.5%) ②53名(75.7%)	上映プログラム① [招待18名含む] 最終券売数：44枚 上映プログラム② [招待18名含む] 最終券売数：35枚 *講義 ①8月22日(土)②8月29日(土)③9月5日(土)CINEMA AMIGOで撮影しZOOMで開催
9	まちづくり 講座「コンサートの作り方」	①10月19日(月) ②10月26日(月)	逗子高等学校	1年生(238名)	—	—	20名受講
10	トモイク 和太鼓グループ彩 逗子公演Vol.2	11月15日(日) 15:00開演	なぎさホール	522名 ※PA・撮影用 32席を除く	全席指定 一般前売2,500円 (当日3,000円) 高校生以下前売1,500円 (当日2,000円)	391名 (74.0%)	最終券売数：453枚 *未就学児入場不可 *事前指導全7回 ①8月7日(金)、②8月31日(月)、③9月24日(木)、④ 10月2日(金)、⑤10月29日(木)、 ⑥11月10日(火)、⑦11月14日(土)
11	まちづくり 逗子子ども落語教室2020 発表会	11月28日(土) 17:00開演	さざなみホール	どなたでも/ 100名	無料	93名 (93.0%)	最終申込み数：100名 *新型コロナウイルスの影響により、事前申込制 に変更 *申込時、参加者家族枠を設定

分類	事業名	実施日時	会場	対象 /定員	チケット料金	入場者数 (入場率)	備考 (チケット販売枚数または申し込み人数)
12	鑑賞 さざなみ落語会 三遊亭わん丈&みんなで創る落語会 其の四	11月28日(土) 14:00開演	さざなみホール	120名	全席自由 1,800円	65名 (54.1%)	最終券売数：73枚 *未就学児入場不可
13	地域資源 平田耕治 TANGO CONCERT 2020	12月6日(日) 14:00開演	なぎさホール	554名	全席指定 3,000円	246名 (44.4%)	[招待56名含む] 最終券売数：205枚 *未就学児入場不可
14	社会的包摂 人形劇「岸辺のヤーピ」	12月19日(土) 14:00開演	なぎさホール	514名 ※つぶし40席 を除く	全席指定 おとな前売1,500円 (当日1,800円) こども前売500円 (当日700円)	304名 (59.1%)	[招待13名含む] 最終券売数：304枚 *0才からチケット必要
15	鑑賞 山田姉妹のクリスマスコンサート 〜“歌声”で逗子にエールを〜	12月25日(金) 14:00開演	なぎさホール	528名 ※PA26席を 除く	全席指定 一般1,000円 高校生以下500円	413名 (78.2%)	最終券売数：445枚 *未就学児入場不可
16	鑑賞 NAOTOアコースティックコンサート with 榊原大 スペシャルゲスト新倉暲	2021年 1月9日(土) 14:00開演	なぎさホール	*275名	全席指定 一般3,500円 高校生以下2,000円	150名 (54.5%)	[招待5名含む] 最終券売数：161枚 *未就学児入場不可
17	鑑賞 中井智弥&暁米綾 〜和と洋が織りなす絃の調べ〜	2021年 1月23日(土) 14:00開演	なぎさホール	*275名	全席指定 一般3,000円 高校生以下1,500円	61名 (22.1%)	[招待4名含む] 最終券売数：59枚 *未就学児入場不可
18	トモイク 絵本作家山本省三さんと 一緒に絵本をつくらう2020 こどものための手作り絵本講座 おとなのための手作り絵本講座	こども： 1月30日(土) 31日(日) 2月7日(日) 3月21日(日) おとな： 10月4日(日) 25日(日) 11月1日(日)	さざなみホール 市民交流センター	小学生以上 /70名 中学生以上 /33名	参加費 2,000円	おとな：33名 (100%) こども：64名 (91.4%)	*先着順 *新型コロナウイルスの影響により、こども対象 の講座を1月・2月へ延期することを5月に決定 *2月21日に延期した第4回講座が会場(市民交流セ ンター)の休館に伴い、3月21日に延期 *おとな：会場(市民交流センター)の収容率50%以 下となったため、定員を33名に変更
19	トモイク 手作り絵本講座 展示	未定	ギャラリー	—	無料	—	おとな：14作品展示 *12月18日開催図書館連携事業「おはなし会」を 実施。おひざにだっこの会10名、わんぱく会16名 参加。 *こども：緊急事態宣言延長による会場(交流セン ター)使用不可により講座が延期となったため中止
20	トモイク 逗子文化プラザホール開館15周年 東京交響楽団 演奏会	2021年 2月13日(土) 14:00開演	なぎさホール	*387名	全席指定 一般2,500円 高校生以下1,000円	368名 (95.0%)	[招待7名含む] 最終券売数：380枚 *未就学児入場不可 *緊急事態宣言延長に伴い、1月11日販売停止 *アフタートーク参加者：60名
21	トモイク 東京交響楽団 指揮者体験ワークショップ	2月13日(土) 16:00~	なぎさホール	—	無料	5名 (100%)	最終申込み数：23名 *新型コロナウイルスの影響により、4月に延期を 決定 *当日申込・抽選 *東京交響楽団 演奏会に内包
22	鑑賞 逗子落語会 三遊亭好楽・桂文彦 東西会	2021年 3月7日(日) 14:00開演	なぎさホール	*346名	全席指定 一般前売3,500円 (当日4,000円) 高校生以下前売2,000円 (当日2,500円)	331名 (95.7%)	[招待3名含む] 最終券売数：343枚 *未就学児入場不可 *緊急事態宣言延長に伴い、2月2日販売停止

新型コロナウイルス感染症に係る逗子市の取組方針に基づき、一部定員を変更して開催。

参考資料

1. 逗子文化プラザホール 令和2年度自主文化事業（新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う中止分）

分類	事業名(仮)	実施 予定月日	会場	想定チケット料金	備考
1	トモイク 共催 第3回敬老寄席 駅前寄席 in 逗子文化プラザホール	5月13日(水)	なぎさホール	無料招待	*主催：NPO法人逗子葉山鎌倉駅前寄席 *事前に招待券を先着順で配布
2	まちづくり 第31回逗子コミュニティパーク2020春 ～大人の休日～との連携 若手演奏家の出演	5月16日(土) or 17日(日)	亀岡八幡宮	—	*主催：逗子コミュニティパーク実行委員会 *出演者：パーカッションアンサンブル
3	地域資源 「SHANTI's New Standards with MARC VAN ROON Japan 2020」 Tour Final in ZUSHI	6月20日(土)	なぎさホール	全席指定 前売3,000円 (当日3,500円)	*未就学児入場不可
4	まちづくり ブリッツ吹奏楽クリニック アンサンブルチャレンジ!	6月21日(日)	なぎさホール	—	
5	地域資源 若手演奏家シリーズ#11 パーカッションアンサンブル	7月18日(土)	さざなみホール	全席自由 1,000円	*未就学児入場不可
6	社会的包摂 【ホールオープナー】 0才からのコンサート こどもブリッツ ～小さな小さな吹奏楽～	8月1日(土)	なぎさホール	全席指定 おとな1,000円 こども500円	*0才からチケット必要
7	鑑賞 【ホールオープナー】 EMPTY KRAFT Special LIVE Vol.3		さざなみホール	全席自由 2,000円	*未就学児先着10名無料
8	トモイク 【ホールオープナー】 ワークショップ② サンドアート		ギャラリー	参加費500円	
9	まちづくり 【ホールオープナー】 ワークショップ③ こどもレセ体験		なぎさホール 他	—	
10	トモイク 【ホールオープナー】 スタンプラリーほか		館内	—	
11	まちづくり 【ホールオープナー】 マルっと文ブラ フェスティバル盆踊り	さざなみホール	—		
12	社会的包摂 共催 逗子市（市民協働課）連携事業 ※人形劇団ふもっふっor式町水晶	8月15日(土)	さざなみホール ギャラリー	—	
13	まちづくり 避難訓練コンサート2020	9月15日(火)希望	なぎさホール	—	*事前応募制
14	まちづくり ZUSHIパフォーマーズフェスタ Vol.6	10月3日(土)	さざなみホール	全席自由 500円	[4組]
15	まちづくり おとなの休日・秋 コミュニティパークとの連携	11月	亀岡八幡宮	—	*若手演奏家シリーズ#12出演者が出張演奏
16	鑑賞 ウィークデイ・マチネ 坂巻貴彦ピアノコンサート	2021年 2月17日(水)	さざなみホール	全席自由 1,500円	*未就学児入場不可
17	地域資源 若手演奏家シリーズ#12 SHUREI -秀麗なる木管五重奏の音色-	2021年 3月13日(土)	さざなみホール	全席自由 1,000円	*未就学児入場不可
18	トモイク 共催 トモイクフェスティバル連携	未定	なぎさホール	—	
19	トモイク レセプション フォローアップセミナー	未定	なぎさホール	—	
20	トモイク 情報発信協力ボランティア スキルアップ講座(仮)	未定	なぎさホール 他	—	

2. 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、逗子市文化振興条例（平成21年逗子市条例第15号）第7条第1項の規定に基づき、逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会（以下「委員会」という。）を設置し、その運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について調査及び評価を行い、その結果を教育長に提言する。

- (1) 逗子市文化振興基本計画（以下「基本計画」という。）における施策に関する適切な実施に関すること。
- (2) その他基本計画に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、次に掲げる者のうちから教育長が委嘱する。

- (1) 公募による市民
- (2) 学識経験を有する者
- (3) その他教育長が特に必要であると認める者

2 委員の任期は、3年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(委員長等)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長及び副委員長の任期は、委員の任期による。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第7条 委員長は、必要があると認めるときは、専門的事項について学識を有する者、市職員その他の者に対し、その出席を求めて意見又は説明を聴くことができるほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、文化スポーツ課において処理する。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

(招集の特例)

- 2 委員会の最初の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育長が招集する。

3. 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会 名簿

役職	委員氏名	団体名、所属等
委員長	伊藤 裕夫	学識経験者（元富山大学芸術文化学部教授）
副委員長	富岡 幸一郎	学識経験者（鎌倉文学館館長）
	山崎 稔恵	学識経験者（関東学院大学教授）
	奥野 花代子	（市民）

（敬称略）

4. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会 会議日程

第1回

開催日時：令和3年6月30日（水）午前10時30分～午前11時45分

開催場所：市役所第2会議室

出席委員：伊藤裕夫委員長、富岡幸一郎副委員長、山崎稔恵委員、奥野花代子委員

議題：（1）令和2年度事業に関する評価の対象、方法について

（2）令和3年度事業について

（3）その他

第2回

開催日時：令和3年9月22日（水）午前10時00分～午前11時30分

開催場所：市役所第3会議室

出席委員：伊藤裕夫委員長、富岡幸一郎副委員長、山崎稔恵委員、奥野花代子委員

議題：（1）令和2年度事業に関する評価について

（2）その他

逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会
令和2年度事業に関する評価報告書

発行 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会
発行日 2021年（令和3年）10月
編集 逗子市市民協働部文化スポーツ課
〒249-8686 神奈川県逗子市逗子5-2-16
TEL: 046-873-1111 FAX: 046-873-4520
E-mail: bunkasports@city.zushi.lg.jp